



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,055	—	586	60.3	593	57.6	414	68.3
2021年3月期第2四半期	15,903	△10.8	366	△23.4	376	△28.2	246	△35.0

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 445百万円 (34.4%) 2021年3月期第2四半期 331百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	131.61	—
2021年3月期第2四半期	78.21	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期の売上高については、当該基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	10,778	3,621	32.9	1,126.94
2021年3月期	10,093	3,318	32.2	1,033.16

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 3,549百万円 2021年3月期 3,254百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	—	710	32.1	720	30.6	480	38.2	152.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

「収益認識に関する会計基準」等を2022年3月期の期首から適用しており、上記の連結業績予想の売上高については当該基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）－除外 1社（社名）O' WILL (ASIA) HOLDINGS PTE. LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	3,150,000株	2021年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	304株	2021年3月期	304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	3,149,696株	2021年3月期2Q	3,149,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、回復傾向にあるものの、新たな変異株の出現による感染再拡大の懸念もあり、楽観視できない状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、人流や生活様式が大きく変化し、経営環境は一変しております。また、消費者の健康志向や節約志向は上昇傾向にあり、企業は、多様化する消費者ニーズへの対応が急務となっており、新たなマーケティング戦略の策定及び実現に取り組んでおります。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。既存事業の深耕ならびに環境ビジネス関連の大型シーリングファンの成約件数が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,055,063千円（前期同期は15,903,978千円）となりました。また、利益面においては、物流経費、広告宣伝費及び貸倒引当金繰入額が増加したものの、主力カテゴリーの食品副原料、農産物加工品や大型シーリングファンの売上総利益が増加したことにより、営業利益は586,863千円（前期比60.3%増）、経常利益は593,238千円（前期比57.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は414,516千円（前期比68.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲料市場においては、新型コロナウイルス感染拡大により、外出自粛や在宅勤務など、消費者のライフスタイルが変化していることに加え、コンビニエンスストアや量販店などで販売競争が激化していることから、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーであるビタミンCなどの食品副原料、茶類や果汁などの農産物加工品の販売数量が前年同期に比べ大幅に回復いたしました。また、大型シーリングファンの需要は引き続き高く、好調に推移したことから、卸売事業の売上高は15,011,984千円（前年同期は15,886,510千円）となりました。

#### <製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。新規顧客先からの受注に加えて、主要顧客先からの注文が前年同期の大幅減少から回復したことにより、業務用バルクアイスやPB商品の受注が増加いたしました。以上の結果、製造販売事業の売上高は303,560千円（前期同期は220,527千円）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ638,739千円増加し、9,220,018千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ46,354千円増加し、1,558,780千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて685,093千円増加し、10,778,799千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ464,962千円増加し、5,658,439千円となりました。主な要因は、買掛金、未払法人税等の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ83,622千円減少し、1,498,525千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ381,339千円増加し、7,156,964千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ303,754千円増加し、3,621,834千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境を踏まえ、2021年5月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、2021年11月8日公表の「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,910,313	2,050,571
受取手形及び売掛金	4,039,959	4,726,383
商品及び製品	1,435,627	1,515,117
未着商品	793,496	554,438
原材料及び貯蔵品	27,770	38,569
未収入金	102,690	92,874
その他	276,022	296,983
貸倒引当金	△4,600	△54,920
流動資産合計	8,581,279	9,220,018
固定資産		
有形固定資産	400,305	396,934
無形固定資産	3,572	4,437
投資その他の資産	1,108,548	1,157,408
固定資産合計	1,512,426	1,558,780
資産合計	10,093,705	10,778,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,815,883	4,270,910
1年内返済予定の長期借入金	792,405	721,195
未払金	159,238	146,174
未払法人税等	82,962	185,616
賞与引当金	43,712	47,680
その他	299,275	286,861
流動負債合計	5,193,476	5,658,439
固定負債		
長期借入金	1,498,213	1,404,269
資産除去債務	1,723	940
その他	82,211	93,315
固定負債合計	1,582,148	1,498,525
負債合計	6,775,625	7,156,964
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,278,850	2,551,630
自己株式	△259	△259
株主資本合計	2,934,453	3,207,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281,087	314,370
繰延ヘッジ損益	7,726	3,149
為替換算調整勘定	30,882	24,765
その他の包括利益累計額合計	319,696	342,285
非支配株主持分	63,930	72,314
純資産合計	3,318,080	3,621,834
負債純資産合計	10,093,705	10,778,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	15,903,978	15,055,063
売上原価	14,484,483	13,352,648
売上総利益	1,419,495	1,702,414
販売費及び一般管理費	1,053,314	1,115,551
営業利益	366,181	586,863
営業外収益		
受取利息	76	416
受取配当金	4,243	4,280
受取手数料	3,163	3,163
補助金収入	14,438	5,466
その他	2,897	5,729
営業外収益合計	24,820	19,056
営業外費用		
支払利息	4,542	4,180
為替差損	9,330	8,385
その他	779	114
営業外費用合計	14,652	12,681
経常利益	376,349	593,238
特別利益		
固定資産売却益	—	3,096
為替換算調整勘定取崩益	—	13,226
特別利益合計	—	16,322
税金等調整前四半期純利益	376,349	609,561
法人税、住民税及び事業税	140,311	180,696
法人税等調整額	△12,819	6,867
法人税等合計	127,491	187,563
四半期純利益	248,857	421,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,513	7,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	246,343	414,516

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	248,857	421,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,014	33,283
繰延ヘッジ損益	△1,315	△4,576
為替換算調整勘定	△8,099	△5,212
その他の包括利益合計	82,599	23,493
四半期包括利益	331,457	445,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,485	437,106
非支配株主に係る四半期包括利益	971	8,384



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	376,349	609,561
減価償却費	23,330	20,873
貸倒引当金の増減額(△は減少)	500	50,312
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,649	3,968
受取利息及び受取配当金	△4,320	△4,696
支払利息	4,542	4,180
為替差損益(△は益)	3,249	△668
固定資産売却益	—	△3,096
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	—	△13,226
売上債権の増減額(△は増加)	△734,404	△680,377
棚卸資産の増減額(△は増加)	△35,801	148,355
未収入金の増減額(△は増加)	△54,865	9,817
前渡金の増減額(△は増加)	△12,426	△20,244
仕入債務の増減額(△は減少)	526,313	451,012
未払金の増減額(△は減少)	14,795	△12,066
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,384	△18,963
前受金の増減額(△は減少)	3,189	597
その他	△53,148	△6,873
小計	45,566	538,466
利息及び配当金の受取額	4,320	4,318
利息の支払額	△4,635	△4,216
法人税等の支払額	△148,472	△72,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	△103,220	465,720
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△22,872	△17,816
有形固定資産の売却による収入	—	3,405
無形固定資産の取得による支出	△1,010	△1,480
差入保証金の差入による支出	△4,010	△878
差入保証金の回収による収入	465	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,428	△16,635
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	840,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△458,023	△465,154
リース債務の返済による支出	△5,069	△4,520
配当金の支払額	△141,511	△141,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	235,396	△311,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,497	2,537
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	97,249	140,257
現金及び現金同等物の期首残高	1,385,681	1,910,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,482,931	2,050,571

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。また、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は1,516,979千円減少し、「原材料及び貯蔵品」及び流動負債の「その他」がそれぞれ14,899千円増加しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,818,559	85,419	15,903,978	—	15,903,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,951	135,107	203,059	△203,059	—
計	15,886,510	220,527	16,107,037	△203,059	15,903,978
セグメント利益又は 損失(△)	413,884	△52,463	361,420	4,760	366,181

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,760千円は、セグメント間取引消去4,760千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,911,733	143,330	15,055,063	—	15,055,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100,251	160,230	260,481	△260,481	—
計	15,011,984	303,560	15,315,544	△260,481	15,055,063
セグメント利益又は 損失(△)	590,184	△5,184	585,000	1,863	586,863

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,863千円は、セグメント間取引消去1,863千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。